

事務事業名	公共施設リフレッシュ事業	所属部	建設部	所属課	業務管理課
政策名	総合計画体系 (II) 環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり《定住環境》	所属G	維持管理G	課長名	日野 誠
施策名	(07) 道路網の整備	担当者名	陶山 透	電話番号 (内線)	0854-40-1061 3733
基本事業名	(019) 道路の補修・維持管理	予算科目	会計 款 項 目 中事業 014050503	公共施設リフレッシュ事業	

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (21年度 ~ 24年度)	各総合センター毎に実施。 ①草刈、支障木伐採等の道路施設リフレッシュ計画策定 ②緊急雇用対策事業を活用したリフレッシュ作業の実施 ③緊急雇用対策事業に基づく予算執行 (臨時職員賃金、資材費、作業委託費等の修繕経費の支出)	国の緊急雇用創出事業を活用して、地域の雇用失業情勢の改善等を目的として臨時職員を採用し、公共施設のリフレッシュを行うこととなった。

(2) トータルコスト

		単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体計画
① 事業費の内訳 (概要)	事業費内訳	国庫支出金	千円					
		県支出金	千円	32,575	47,266	40,459	38,100	158,400
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円					
	事業費計 (A)	千円	32,575	47,266	40,459	38,100	0	
② 延べ業務時間の内訳 (業務の流れ等)	人件費	正規職員従事人数	人	27	28	14	14	83
		延べ業務時間	時間	648	672	776	760	2,856
		人件費計 (B)	千円	2,471	2,613	3,059	0	0
	トータルコスト (A)+(B)	千円	35,046	49,879	43,518	38,100	0	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	23年度実績 (23年度に行った主な活動)	⑤ 活動指標							
	①臨時職員の募集及び採用 ②修繕、除草、支障木伐採等	ア リフレッシュ事業による作業実施件数	件	200	275	250	250	-	975
	24年度計画 (24年度に計画している主な活動)	イ 雇用人数	人	29	40	35	30	-	134
前年度と同じ		ウ 雇用月数	月	173	235	207	180	-	795
		エ 支払件数	件	514	750	661	550	-	2475
		オ							

目的	② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	①生活道路の利用者 ②簡易修繕が必要な生活道路	⑥ 対象指標							
		ア 人口【国勢調査(推計)】	人	42,428	41,927	41,899	41,454	40,999	40,534
		イ 簡易修繕が必要な箇所	箇所	200	275	210	200	-	850
上位目的	③ 意図 (対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	①市内を安全で迅速に移動できるようにする。 ②補修する。	ア 生活道路が安全で便利な道路だと感じている市民の割合	%	58.9	57.1	55.7	59.5	59.7	60
		イ 危ない場所があると感じている市民の割合	%	74.1	70.4	70.8	73.5	73.3	73
		ウ 計画に基づく修繕実施率	%	100	100	100	100	-	100
	④ 結果 (どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
市内を安全で迅速に移動できるようになる。	ア 生活道路が安全で便利な道路だと感じている市民の割合	%	58.9	57.1	55.7	59.5	59.7	60	
	イ 危ない場所があると感じている市民の割合	%	74.1	70.4	70.8	73.5	73.3	73	

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況 (対象者や根拠法令等) はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者 (市民、議会、事業対象者、利害関係者等) からどんな意見や要望が寄せられているか?
全国的な景気低迷により離職を余儀なくされた失業者等の一時的な雇用・就業機会を創り出すことを目的として、平成20年12月に創設された国の緊急雇用創出事業を活用している。平成23年度までの事業であったが、国の事業拡充に伴い平成24年度も実施することとなった。	簡易修繕箇所や業務量に応じて、各総合センターでの雇用人数が均等になるよう調整を図っている。	市民から修繕要望がある。市民から修繕実施について喜びの声がある。担当者から事業期間の延長を望まれている。

事務事業名	公共施設リフレッシュ事業	所属部	建設部	所属課	業務管理課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 生活道路の安全性及び快適性の確保は、市の政策施策体系と一致している。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 事業は市が行うこととなっている。 意図の達成と地域の雇用失業情勢の改善等を兼ねている。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象及び意図は最大である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 計画に基づき修繕を行っているため、成果は既に最大である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 廃止すれば、積極的な道路維持管理ができないだけではなく、緊急雇用の趣旨も後退する。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 国の緊急雇用対策に沿ったものであり、類似事業もなく統廃合もできない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 道路維持管理に必要な経費である。 国の緊急雇用創出事業の観点からも事業費削減は適切でない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 道路維持管理に必要なものである。 国の緊急雇用創出事業の観点からも適切でない。 既に臨時職員を採用し行っている。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ リフレッシュ作業の範囲は市内全域の市道等公共施設を対象としているため公平である。 臨時職員採用の際にはハローワークを通じた公募及び面接等を行っているため公平・公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	国の緊急雇用創出事業を活用し一般財源を抑制しつつ、市道等公共施設のリフレッシュを行えた。 各総合センター間の連携についてもこれまで以上に調整する必要がある。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
地元要望にも即対応出来る事業であるが、国の事業拡充がなければ事業延長が困難となる。																							